

世界史

1 数字を含む歴史用語に関する次の問い(問1～10)に答えよ。(配点 20)

問1 唯一神を信仰する一神教の例として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① イスラーム教 ② キリスト教
③ ヒンドゥー教 ④ ユダヤ教

問2 二重統治体制について説明した次の文中の空欄ア・イにあてはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

キタイは、支配下の狩猟民や遊牧民に対しては部族制、農耕民に対しては州県制を適用し、国号については、キタイとアを時期によって使い分けた。なおキタイは、漢字を基に、ウイグル文字の影響も受けながらイ文字をつくりだした。

- ① ア 金 イ 契丹 ② ア 金 イ 西夏
③ ア 遼 イ 契丹 ④ ア 遼 イ 西夏

問3 のちに三位一体説として確立するアタナシウス派の説が正統教義とされ、アリウス派が異端とされた公会議として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① エフェソス公会議 ② クレルモン宗教会議
③ コンスタンツ公会議 ④ ニケーア公会議

問4 四帝分治制(テトラルキア)を開始したローマ皇帝として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① コンスタンティヌス帝 ② ディオクレティアヌス帝
③ テオドシウス帝 ④ トラヤヌス帝

問5 唐の滅亡後、五代十国が興亡した。五代の最初の王朝である後梁を建てた人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 呉道玄 ② 李元昊
③ 朱全忠 ④ 柳宗元

問6 ムスリムの行うべき信仰・行為をまとめた六信五行のなかで、巡礼するべきとされた地として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① イェルサレム ② イスタンプル
③ メッカ(マッカ) ④ アレクサンドリア

問7 スペインと対峙したネーデルラントの北部7州が結んだ軍事同盟として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① ハンザ同盟 ② シュマルカルデン同盟
③ ヌトレヒト同盟 ④ ライン同盟

問8 8月10日事件を受けて王権の停止を行い、自ら解散した組織として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 全国三部会 ② 国民議会
③ 立法議会 ④ 国民公会

問9 1922年に締結された九カ国条約について述べた次の文a・bの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

- a ワシントン会議において締結された。
b 太平洋諸島についての現状維持が定められた。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問10 1955年、平和十原則を採択したアジア=アフリカ会議が開催された国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① インドネシア ② スリランカ
③ タイ ④ フィリピン

問2 遊牧民とオアシス民について述べた次の文章を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 20)

広大なユーラシア大陸のうち、(1)ハンガリー平原から中国へと至る中央ユーラシアは、北方に草原地帯、南方にオアシス地帯が帯状に広がる地域である。

草原地帯には前9～前8世紀頃に騎馬遊牧民が現れ、季節にあわせて草地を移動する遊牧生活を営んだ。草原地帯の西方では、前7世紀頃に、最初の遊牧国家であるアが黒海北岸を支配した。アの人々の生活や国家のあり方については、ギリシアの歴史家イの著作『歴史』に詳しく述べられている。

草原地帯の東方では、前3世紀末から、ウのもとで匈奴が急速に勢力を拡大した。匈奴は、西方の月氏を攻めてエの(2)オアシス都市を支配下に収め、広大な遊牧帝国を建設して漢を西方から圧迫した。匈奴の人々の様子については、司馬遷の著作『オ』に詳しく述べられている。その後、匈奴は、漢の武帝による攻撃などによって分裂を繰り返していったが、(3)後3世紀以降、草原地帯の東部では、匈奴を含む「五胡」と呼ばれる遊牧民が、活動を活発化させて華北に進出していった。その後、草原地帯では、突厥が(4)6世紀半ばに勢力範囲を拡大し、(5)隋の攻撃などによる分裂や唐への服属、唐からの独立を経て、(6)8世紀半ばにウイグルにより滅ぼされた。

オアシス地帯では、点在する都市において商工業、その周辺では農業が営まれ、オアシス地帯を東西につなぐ交易路である(7)「オアシスの道」では、隊商による国際交易が盛んに行われた。都市民や農民、国際商人は、産品や交易品などと引き替えに遊牧騎馬民から畜産品を獲得し、軍事的な保護を受けた。そして、騎馬遊牧民による遊牧国家の形成に協力して、大きな役割を果たすこともあった。

問1 下線部(1)に関連して、ハンガリーに成立した国家について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

- a ヴァンダル人のアッティラ王が大帝国を建てた。
b ハンガリー王国はローマ=カトリックを受容した。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問2 文章中の空欄ア・エにあてはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① ア エフタル エ タリム盆地
② ア エフタル エ チベット高原
③ ア スキタイ エ タリム盆地
④ ア スキタイ エ チベット高原

問3 文章中の空欄イ・オにあてはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① イ ヘロドトス オ 漢書
② イ ヘロドトス オ 史記
③ イ リウィウス オ 漢書
④ イ リウィウス オ 史記

問4 文章中の空欄ウにあてはまる人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 鳩摩羅什 ② 冒頓単于
③ 完顔阿骨打 ④ 耶律阿保機

問5 下線部(2)で利用されたカナート(カレーズ)とはどのような施設か。正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

- ① 神殿
- ② 水道橋
- ③ 地下水路
- ④ 広場

問6 下線部(3)に関連して、3世紀のユーラシア大陸各地の状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① ゲルマン人社会の姿が、カエサルの『ガリア戦記』やタキトゥスの『ゲルマニア』に記録された。
- ② ローマ帝国では、軍人皇帝時代と呼ばれる混乱期に入った。
- ③ ササン朝ペルシアが、ホスロー1世のもとで領土を拡大した。
- ④ 朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅が鼎立していた。

問7 下線部(4)に関連して、6世紀半ばにフランク王国が滅ぼしたガリア東南部の国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

- ① オドアケルの王国
- ② 西ゴート王国
- ③ ブルグンド王国
- ④ ランゴバルド王国

問8 下線部(5)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

- a 楊堅(文帝)によって建国され、李世民によって滅ぼされた。
- b 煬帝は大運河の整備を進めたが、朝鮮半島への遠征に失敗した。

- ① a-正 b-正
- ② a-正 b-誤
- ③ a-誤 b-正
- ④ a-誤 b-誤

問9 下線部(6)に関連して、唐代においてウイグルの助けを得て鎮圧された反乱の中心人物の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① 安祿山・史思明
- ② 安祿山・呉広
- ③ 陳勝・呉広
- ④ 陳勝・安祿山

問10 下線部(7)において活躍したソグド人について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

- ① アム川とシル川にはさまれたサマルカンド周辺を本拠地とした。
- ② パクバ文字を基にしてソグド文字をつくった。
- ③ ゾロアスター教を信仰する様子が、長安の大秦景教流行中国碑に刻まれている。
- ④ ウイグルの絹と唐の馬を交換する絹馬交易によって利益を得た。

問11 中世の英仏関係についての、4年ぶりに帰国したフランス在住の友人と私の会話文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 20)

友人：4年ぶりの日本だけど、外国人がますます増えて(1)パリみたい。

私：パリといえば、この前私がフランスに行ってからもう10年。あの時は車で一緒にロワール川流域のお城をめぐったよね。シノン城っていう、フランスとイングランドの(2)百年戦争に関係のあるお城も見学したけど、両国ではずいぶん長い間戦争が続いていたんだね。

友人：息子が、先月ボワティエという町に遠足に行ったけど、そこで(3)エドワード黒太子が活躍したという百年戦争の古戦場跡を見学したんだって。(4)当時のイングランドの国王はフランス国内に多くの領土を持っていて、(5)百年戦争の戦場はフランスだったみたいよ。

私：そうなんだ。エドワード黒太子といえば、イギリスの(6)カンタベリ大聖堂で彼のお墓を見たな。百年戦争を始めたのは、黒太子の父親のイングランド国王 **ア** だったよね。

友人：そうだよ。**ア** は自分の母親がフランスの王家出身だったから、(7)フランスの王家が傍系にかわったタイミングで、フランスの王位継承権を主張して戦争を始めたんだって。でも、結局この戦争は(8)フランス側の勝利で終わったんだよね。

私：負けたイングランドの、フランス国内の領土はどうなったの？

友人：イングランドはフランス北部の **イ** という町をのぞいてフランスから全面撤退したらしいけど、その後イングランド国内では、(9)内乱が起こったらしいよ。

私：ええっ、また戦争？大変な時代だね。

問1 下線部(1)について、12世紀に設立されたパリ大学は神学で名高かったが、パリ大学で教鞭をとったことがあり、『神学大全』を著したことで知られる人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **21**

- ① ロジャー=ベーコン
- ② アベラール
- ③ ベネディクトゥス
- ④ トマス=アキナス

問2 下線部(2)について、百年戦争中のヨーロッパに関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① 神聖ローマ帝国では、実質的な皇帝がいない「大空位時代」が生じた。
- ② ローマとアヴィニオンにそれぞれ別の教皇が立ち、教会大分裂(大シスマ)となった。
- ③ 北欧3国により、カルマル同盟が結成された。
- ④ ポルトガルは、「航海王子」エンリケが登場してアフリカへの進出を始めた。

問3 下線部(3)について、百年戦争中の戦いでエドワード黒太子率いるイングランド軍が長弓兵を率いて勝利した戦いとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① ワールシュタットの戦い
- ② ニコポリスの戦い
- ③ クレシーの戦い
- ④ モハーチの戦い

問4 下線部(4)に関連して、イングランドとフランスの関係について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

- a ノルマンディー公ウィリアムは、イングランドを支配していたデーン人を征服して王朝を開いた。
- b イングランド王ジョンは、フランス王フィリップ2世と争ってフランス国内の領土の多くを失った。

- ① a-正 b-正
- ② a-正 b-誤
- ③ a-誤 b-正
- ④ a-誤 b-誤

問5 下線部(5)について、百年戦争中のフランスについての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- ① 農民たちがワット=タイラーの乱を起こした。
- ② シモン=ド=モンフォールの議会が開かれた。
- ③ 南フランスのカタリ派(アルビジョワ派)が征服された。
- ④ 黒死病(ペスト)の流行が国土の荒廃に追い打ちをかけた。

問6 下線部(6)について、カンタベリ大聖堂に参拝する人々の話をまとめた『カンタベリ物語』の作者として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① チョーサー ② シェークスピア
③ ボッカチオ(ボッカッチョ) ④ トマス=モア

問7 文章中の空欄「ア」・「イ」にあてはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① ア エドワード1世 イ ボルドー
② ア エドワード1世 イ カレー
③ ア エドワード3世 イ ボルドー
④ ア エドワード3世 イ カレー

問8 下線部(7)について、新しいフランスの王朝として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① ブルボン朝 ② カペー朝
③ ブランタジネット朝 ④ ヴァロワ朝

問9 下線部(8)について、勝利したフランスについて述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29

a フランスの勝利に貢献したジャンヌ=ダルクは、最後には異端とされて火刑に処された。
b 長期にわたる戦争で多くの諸侯が没落し、中央集権化が進んだ。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問10 下線部(9)について、この内乱の説明と、内乱を收拾して新王朝を開いた国王の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 重税を課す王への諸侯の反乱 - ヘンリ7世
② 重税を課す王への諸侯の反乱 - ヘンリ8世
③ 王位継承をめぐる争い - ヘンリ7世
④ 王位継承をめぐる争い - ヘンリ8世

4 明・清帝国の朝貢世界について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点20)

A 明の(1)洪武帝は、倭寇の活動を抑えるために厳しい海禁政策をとって民間の海上貿易を禁止し、政府の管理する朝貢貿易を推進した。朝貢制度は、東アジアの海域世界で盛んに行われた。冊封を受けてほぼ無制限の朝貢貿易を許された(2)琉球や、(3)鄭和の航海を機に明の保護のもとで台頭したマラッカ王国は、海上交通の要として栄えた。(4)朝鮮王朝も明から冊封を受け、朝貢貿易を行った。

問1 下線部(1)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 紅巾の乱で頭角をあらわした朱元璋である。
② 六部を中書省の管轄下に置いた。
③ 衛所制を実施して徴税事務や治安維持にあたらせた。
④ 土地台帳である賦役黄冊を整備した。

問2 下線部(2)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32

a 中山王が政治的統一を達成して琉球王国を建てた。
b 日本・朝鮮・東南アジアと明とを結ぶ中継貿易を行った。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問3 下線部(3)について、鄭和の艦隊が寄港した都市として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① アユタヤ ② マリンディ
③ カイロ ④ メッカ

問4 下線部(4)について述べた次の文a～cが、年代の古いものから順に配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

a 李舜臣が亀船(亀甲船)を率いて活躍した。
b 日本に朝鮮通信使を派遣するようになった。
c 訓民正音(ハングル)が制定された。

- ① a → b → c ② a → c → b
③ b → a → c ④ b → c → a
⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

B 16世紀には世界的に商業が活発となった。東南アジアでは現地勢力や(5)ヨーロッパ勢力が貿易の利益をめぐる争いを繰り広げた。この頃、明の周縁部でも海禁に反して貿易の利益を得ようとする動きが活発化し、なかでも(6)北虜南倭と呼ばれる北方と南方における動きは、明をおおいに苦しめた。16世紀後半、明はついに海禁をゆるめて中国人の海外渡航を認め、モンゴルとの交易も開始した。この結果、(7)明には大量の銀が流入するが、朝貢秩序は崩れ、明の権威は弱まった。

問5 下線部(5)について、16世紀初めにマラッカを占領したヨーロッパの国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① イギリス ② スペイン
③ オランダ ④ ポルトガル

問6 下線部(6)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

a オイラトのアルタン=ハーンが、しばしば長城を越えて侵入を繰り返した。
b 日本で南北朝の動乱が広がるなか、自立的な活動を強めた武士団などが、朝鮮半島や中国沿海部で略奪行為を働いた。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問7 下線部(7)について、この結果、明では貨幣経済が浸透した。明の経済について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 長江下流域では商品作物の栽培が広がり、家内制手工業が発展した。
- ② 赤絵などの陶磁器が、景德鎮でつくられた。
- ③ 湖北・湖南地方が、新たな穀倉地帯となった。
- ④ 杭州出身の山西商人は、特権商人として巨大な富を築いた。

C アを拠点に(8)清に抵抗する鄭成功に対抗するため、清は当初厳しい海禁をしいたが、1683年に康熙帝が鄭氏一族を降伏させると、翌年海禁を解除した。以後、朝貢貿易にかわって、外交関係を伴わない民間貿易が主流になった。一部では中国商人とオランダ・フランス商人との交易も認められたが、18世紀半ばになると(9)乾隆帝はヨーロッパ船の来航を廣州一港に限定し、イに貿易を管理させることとした。

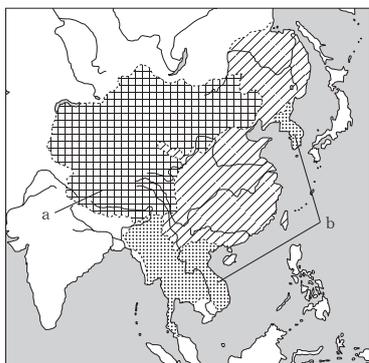
問8 文章中の空欄ア・イにあてはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 38

- ① ア 三藩 イ 市舶司
- ② ア 三藩 イ 行商(公行)
- ③ ア 台湾 イ 市舶司
- ④ ア 台湾 イ 行商(公行)

問9 下線部(8)について、清の中国支配について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 39

- ① 主要職については、満洲人を多く配置した。
- ② 満洲人で組織した緑營に、治安維持にあたらせた。
- ③ 反清思想に対しては、文字の獄や禁書といった弾圧が繰り返された。
- ④ 科挙は実施されたが、儒教は軽視された。

問10 下線部(9)について、次の地図は乾隆帝時代の清の領土を示すものである。藩部をa・bから選び、藩部の説明の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 40



- ① a-現地地の首長を通じた統治が認められた。
- ② a-軍機処から派遣された官僚が統治した。
- ③ b-現地地の首長を通じた統治が認められた。
- ④ b-軍機処から派遣された官僚が統治した。

5 近現代の同盟関係について述べた次の文章中の空欄(ア)～(コ)に入れる語として正しいものを、次ページの【語群A】～【語群D】のうちから、各語群に記されている指示に従って一つ選べ。(配点 20)

歴史上、国家間の共通の利害に基づいて様々な同盟関係が成立してきた。たとえば、1793年、フランス革命の波及を防ぐことを目的として、イギリス首相(ア)の提唱によって対仏大同盟が結成された。

19世紀後半には、ドイツの宰相ビスマルクが、ロシアなどと結んだ三帝同盟や(イ)などと結んだ三国同盟、三帝同盟崩壊後にロシアと結んだ(ウ)といった複数の同盟関係による包圍網によって、(エ)の孤立という、自国にとつての利益の実現をはかった。しかし、このビスマルク体制はやがて崩壊し、20世紀初頭にかけて、ヨーロッパ列強は、三国同盟と三国協商を中心に再編された。両陣営の対立はバルカン半島情勢と関係が深く、第1次バルカン戦争では、オスマン帝国が、ロシアに後押しされたバルカン同盟に敗れ、バルカン同盟の内紛から起こった第2次バルカン戦争では、他のバルカン同盟諸国に敗れた(オ)がドイツに接近した。こうした緊張を背景に第一次世界大戦が勃発し、同盟国と協商国が全面衝突した。この大戦では、オスマン帝国が三国同盟側で参戦する一方、(イ)は密約に基づいて三国同盟から離脱して協商国側で参戦した。

第一次世界大戦は協商国側が勝利し、協商国主導で集団安全保障体制を目指す国際連盟が結成されて(カ)に本部が置かれた。提唱者であるアメリカ合衆国の不参加など、連盟の姿は理想から遠いものであったが、フランス外相(キ)とアメリカ合衆国国務長官ケロッグの主導によって(ク)が締結されるなど、国際協調の機運は盛り上がりを見せた。

しかし、世界恐慌への対応を通じて各国において自国中心的な傾向が強まり、ファシズム諸国による国際協調体制の破壊が進んだ。そして、ドイツが、ソ連との(ケ)を背景に他国への侵攻を開始し、第二次世界大戦に発展した。大戦勃発後、ファシズム諸国の協力関係は日独伊三国同盟に発展し、大戦は同盟国とアメリカ合衆国を中心とする連合国の対決となり、連合国の勝利に終わった。

第二次世界大戦後、国際連盟の機能不全に対する反省を踏まえ、国際連合が発足した。しかし、戦後の国際秩序は、アメリカ合衆国中心の資本主義国陣営とソ連中心の社会主義国陣営が対立する構図となり、前者は北大西洋条約機構、後者は(コ)条約機構を結成するなど、軍事的な結びつきを強めていった。

【語群A】: 空欄(ア)・(キ)に入れる語

(ア) 41 ・ (キ) 42

- ① カニング
- ② グラッドストン
- ③ シューマン
- ④ タレーラン
- ⑤ ピット
- ⑥ ブリアン

【語群B】: 空欄(イ)・(エ)・(オ)に入れる語

(イ) 43 ・ (エ) 44 ・ (オ) 45

- ① オーストリア
- ② イタリア
- ③ ギリシア
- ④ セルビア
- ⑤ フランス
- ⑥ ブルガリア
- ⑦ ベルギー
- ⑧ ポーランド
- ⑨ モンテネグロ

【語群C】: 空欄(ウ)・(ク)・(ケ)に入れる語

(ウ) 46 ・ (ク) 47 ・ (ケ) 48

- ① 基本条約
- ② 休戦条約
- ③ 相互援助条約
- ④ 再保障条約
- ⑤ 相互防衛条約
- ⑥ 中立条約
- ⑦ 不可侵条約
- ⑧ 不戦条約
- ⑨ 平和友好条約

【語群D】: 空欄(カ)・(コ)に入れる語

(カ) 49 ・ (コ) 50

- ① サンフランシスコ
- ② ジュネーヴ
- ③ ニューヨーク
- ④ ブリュッセル
- ⑤ マーストリヒト
- ⑥ ワルシャワ